

# 平成30年度 相談支援部会 活動方針

## 【これまでの経過】

○H29年度は、2事例を相談支援部会にて地域課題事例として取り扱い、課題解決に向けたワーキングの発足へつながっている。

※地域課題事例として提案を行った事例:「中之島地域の医療機関への送迎」、「行動障害等がある児童のサービス利用」

→「行動障害等がある児童のサービス利用」については、H30年度ワーキングにて検討開始

→「中之島地域の医療機関への送迎」については、ワーキングにて確認のうえ、個別支援における調整・工夫を改めて部会で検討

○H29年度の相談支援部会における振り返り・評価をもとに、改めて検討プロセスを再設定。また、地域課題の抽出だけを部会の役割・位置づけとせず、情報機能や教育機能についても部会の役割として実施していくこととなった。

## 【今年度の方針】

情報機能・教育機能の強化を図り、相談支援部会の役割である『個別ケースから生じた地域課題の抽出・解決に向けた取組方法の提案』についての理解を深める。

## 【具体的活動(取組み)内容】

相談支援従事者として「社会資源の開発・改善」の役割を担うために、長岡市の地域状況を確認するための情報交換等(障害分野だけでなく他分野の取組みや情報も確認)を実施する。

⇒各地域の状況確認・地域診断を通し、社会資源をはじめとした地域特性や地域差について理解する。